

## 第159回 仏教公開講座

年間テーマ

# 生きるって ということ

サブテーマ (教区テーマ)

『<sup>まなこ</sup>眼をひらく <sup>こころ</sup>心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2017年9月20日(水) 午後6時半より		
講 師	玉光 順正 氏 (山陽教区 光明寺住職)		
講 題	五濁の世、人間として生きる		
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈 (同朋奉讃式)	
	6時45分	講 義	
	8時15分	質問の時間	
	8時30分	恩徳讃	
講師紹介	1943年兵庫県市川町生まれ 1967年京都大谷専修学院卒 山陽教区 光明寺住職		

### 先生からのメッセージ

像末五濁の世となりて 釈迦の遺教かくれしむ

弥陀の悲願ひろまりて 念仏往生さかりなり

人間がこわれかけてしまったかの様な 今の時代 釈尊の教えは多くの人々から離れていく  
しかない そこでは 宗教・仏教からも解放(開放)された

まだ誰もが充分 考え切れていない 浄土の真宗が待たれている

いつでも・どこからでも聞ける "テレホン法話"、お電話ください。Tel.058-265-0033

# MEMO

## 次回 第160回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2017年10月20日（金）午後6時半より

講 師 駒澤 勝（こまざわ まさる）氏

講 題 阿弥陀様と私

講師紹介 昭和17年 広島県三次市に生まれる  
昭和43年 岡山大学医学部卒業  
昭和44年 国立岡山病院小児科勤務  
昭和48年～49年 科学技術庁長期在外研究員として、ニューヨーク州立大学  
Upstate Medical Centerに留学  
昭和55年 国立岡山病院小児科医長  
平成 3年 こまざわ小児科開設 院長 現在に至る

メッセージ 多数の患者さんが思い通りの結果に至らない現実の中で、死ぬ子や不治の病の子が「あるがままで良い世界」を求め始めた。それ以外彼らの立つ瀬がないからである。超難問だった。親鸞の教えにその答えを探した。難解の答えは意外な方向から来た。病気や死ぬ子ではなく、先ず私が、あるがままで良いと阿弥陀仏に支えられていた。それは私の存在の基盤であり、私の真の救いであった。そしてまったく同じ理屈で、病気や死ぬ子が、否、全ての人があるがままで救われていた。